

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成 31 年 4 月 18 日(木)に実施した「令和元年度全国学力・学習状況調査」について、かすみがうら市の児童生徒の傾向をお知らせいたします。

【全国学力・学習状況調査の目的】

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ったり、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てたりします。

【調査の対象】

小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年の全児童生徒

【調査の内容】

○教科に関する調査

小学校(国語, 算数) 中学校(国語, 数学, 英語)

知識・活用に関する一体的な問題

○質問紙調査 学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面などに関する内容



【結果の概要】

各教科及び質問紙調査について、かすみがうら市の結果として特に良かった点と、特に課題が見られた点についてお知らせします。(特に良かった点○, 特に課題が見られた点●)

【国語】

小学校

○目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことは、概ね満足できる状況です。

○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることは、概ね満足できる状況です。

●目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題が見られます。

●文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題が見られます。

中学校

○文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことは、概ね満足できる状況です。

○書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することは、概ね満足できる状況です。

●封筒の書き方を理解して書くことに課題が見られます。

●話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことに課題が見られます。

【算数・数学】

小学校

- 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることは、概ね満足できる状況です。
- 目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことは、概ね満足できる状況です。
- 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題が見られます。
- 示された計算の仕方を解釈し、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題が見られます。

中学校

- 平行移動の意味を概ね理解している状況です。
- 反例の意味を概ね理解している状況です。
- グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することに課題が見られます。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られます。

【英語】

中学校

- 語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることは概ね満足できる状況です。
- 教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることは概ね満足できる状況です。
- 聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題が見られます。
- 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことに課題が見られます。

【質問紙調査】

小学校

- 朝食を毎日食べている、毎日同じくらいの時刻に起きていると回答した児童が、それぞれ市内全小学6年生の9割を超えました。
- 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用していると回答した児童は全国平均を大きく超えました。
- 新聞を週に1回以上読んでいると回答した児童は2割未満でした。
- 解答時間が十分でないと回答した児童が多く、国語も算数も全国平均を上回りました。

中学校

- 朝食を毎日食べている、毎日同じくらいの時刻に起きていると回答した生徒が、それぞれ市内全中学3年生の9割を超えました。
- 先生はよいところを認めてくれている、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれると回答した生徒は、それぞれ8割を超えました。
- 新聞をほとんど読んでいない生徒は9割近くいました。
- 解答時間が十分でないと回答した生徒が多く、特に英語は全国平均を大きく上回りました。

【留意点】

※この調査において測定できるのは学力の特定の一部分、学校における教育活動の側面であり、学力の全てを評価するものではありません。

【まとめ】

※全体的な傾向としては、基礎的・基本的な内容についての知識・理解は概ね満足できる傾向にあります。活用することに課題が見られます。説明を記述する設問については、改善が見られました。授業の中で、根拠を明確にして説明をする場面を意図的に取り入れたり、不十分な記述に対して適切な指導を繰り返すことにより、少しずつではありますが成果が出てきています。目的に応じて自分の考えや意見が正しく記述できるように、今後も各教科の指導の充実を一層図ってまいります。

※小学校は、一日の勉強時間(学校の授業時間以外)が多いほど、正答率が高い傾向が見られました。中学校は、朝食を毎日食べている生徒ほど正答率が高い傾向が見られました。また、家の人と学校での出来事について話をよくしている生徒ほど正答率が高い傾向が見られました。各ご家庭のご協力が、よい結果につながっています。今後とも、引き続きご家庭でのお声かけ等をよろしくお願いいたします。

